

さくら



令和6年12月23日(月)

今も世界のどこかで戦争が起きています。戦争は人と人とが殺し合い、生存権を脅かす最大の人権侵害。1971年、ジョン・レノンとオノ・ヨーコは、「Happy Xmas (War Is Over)」(校内放送で流している楽曲)を発表しました。ベトナム戦争が長期化する中で作られたこの楽曲には、反戦のメッセージが込められています。私たちは、日本という国で、平和に(近隣諸国との緊張はあるが)年の瀬を迎えることができそうです。しかし、世界を見渡せば、戦火の中を逃げ惑っている人が多くいることを、私たちは忘れてはなりません。 ※興味をもった人は、ネットなどで調べてみよう。

一年を振り返る

除夜の鐘(かね)は、年末から年始にかけてお寺で行われる行事です。大晦日の0時を挟む時間帯に、お寺の梵鐘(ぼんしょう)を108回撞(つ)きます。なぜ108回なのか。人間には108個の煩惱(ぼんのう)があるとの仏教の考えに基づきます。煩惱とは「心を煩(わづ)わし身を悩(なや)ます心の働き」のこと。少し難しい話ですね。身近なことで言えば、「掃除をさぼりたい」「宿題があるけど遊びたい」「我慢しなければならない場面で楽をしたい」などのことだと思ってください。これらの煩惱を、鐘が一つ鳴るごとに一つ消して(反響して)、心新たに幸せな次の一年を迎えるという願いが込められているのです。

さて、皆さんにとって、今年はどうのような一年でしたか。この冬休み、新年を迎えるにあたり、ゆっくりと自分自身と向き合ってみましょう。とりわけ、次のことについては、深く考えてみてください。

<心の底から感謝できたか>

「感謝しています」「有り難うございます」あなたのその言葉は本物でしょうか。有ることが難しいから「有り難い」。その反対は「当たり前」。口では「有り難い」と言っておきながら、それが当たり前になっていませんか。身近なところでは、親から何かを買ってもらった、誰かから何かをしてもらったなど。大きな視点では、今、命をいただいていること。日々の何気ない生活の中に感謝すべきことがあるのです。また、感謝すべきことは行動で返しましょう。「有り難う」を言葉にし、家庭では家事を手伝うなどで感謝の気持ちを伝えましょう。命をいただいていることに対しては、日々を正しく精一杯生きること感謝しましょう。

<人に優しく自分に厳しく>

ネット上では、人に優しくない言葉が飛び交っています。そのような言葉を書き込む人は、自分に対してはどうなのでしょう。今年も、皆さんには「人に優しくしよう」という事を伝えてきました。日々の暮らしの中で実践できましたか。自分がされて嫌なことは人にしない。これは人として守るべきことです。堀江中学校には、約880人の生徒がいます。互いに尊重し合い、助け合い、共に成長できる環境をつくり続けましょう。

年末年始を有意義に過ごし、締めくくりの3学期を元気に迎えましょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

